［活動報告］

文化庁国立近現代建築資料館［NAMA］開館 10 周年展：
過去 10 年間の展覧会資料整理報告

小池 周子*

National Archives of Modern Architecture [NAMA] 10th Anniversary Special Exhibition:
Report of the past ten years of NAMA's exhibition archives

KOIKE Shuko

The National Archives of Modern Architecture, Agency for Cultural Affairs (NAMA) has held twelve exhibitions over the past ten years. This 10th anniversary year, NAMA looked back on these exhibition item lists and sorted them to the NAMA server. And many video data, like oral histories and documentation, were reorganized in a unified format. With this arrangement, it became an easy-to-sort exhibition archive. Including past particulars in exhibitions, this report will be inherited in the next ten years of NAMA's exhibition.

キーワード：建築博物館、展覧会、建築資料
architectural museum, exhibition, archival Items

1. 本稿の目的

文化庁国立近現代建築資料館 National Archives of Modern Architecture, Agency for Cultural Affairs［NAMA］（以下 NAMA）は、2023年5月に開館10周年を迎えた。過去10年間、20の展覧会を開催し、展覧会自体の履歴も積み重ねられてきた。建築資料の収集と公開を旨とする NAMA において、建築文化のさらなる訴求、活動の認知拡大を進めるなか、展覧会は NAMA の活動のなかで最も一般に開かれた場であり、活動意義を伝え続けてきた。

一方、内部では、それまで展覧会の展示情報を総覧できるようにはなっておらず、各担当者が必要な情報を都度拾い集める状況であった。「10周年記念アーカイブズ特別展」に向けての展示計画検討に際し、過去10年間の記録整理を行い、展覧会総覧としての記録をまとめ、開催内容の調査・整理を行なった。各展覧会の出品プロジェクト、作品リスト、オーラルヒストリーのリスト化及びデータ形式の整理などを行い、統一情報として20回の展覧会メタデータの整理及び、サーバ内への別置を完了させた。

本稿は、この10年間の展覧会開催の変遷に触れながら、その整理情報及びデータについての調査経緯記録並びに報告とし、今後の展覧会企画や進行における資料となることを目指す。

なお、10周年記念展の概要については、別稿「文化庁国立近現代建築資料館［NAMA］10周年記念アーカイブズ特別展『日本の近現代建築家たち』に関する企画の経緯と展覧会の特徴」（8頁～14頁）を参照いただきたい。

2. 展覧会の動向と現状

2013年の開館記念展「建築資料にみる東京オリンピック」展から、2022年後期の「原広司　建築に何が可能か――有孔体と浮遊の思想」展まで、NAMA では20回の展覧会を開催している。展覧会には「企画展」と「収蔵品展」があり、企画展は4回開催された。企画展は外部専門家による企画や借用資料が中心となる内容、収蔵品展は主に収蔵品による展示だが、しばらくまで、収蔵資料と借用資料と織り交ぜながらの展覧会を行なっていた。開館当初は収蔵資料のみで企画内容を表現しきれなかったためである。現在収蔵資料は20万点を超え、より多くの収蔵品を展示し、広く NAMA の活動の成果を認知いただくことができるようになった。開館当初は、寄贈が決まった記念的な展覧会がしばしば開催され、展示の際は借用状態だったが、現在では収蔵に至った資料も多い。それは資料整理が不完全な状態で展覧会を開催せざるを得なかったということを物語るものでもあり、展覧会後の資料及び情報整理に混乱を招いていた。現在は収蔵され、アイテムナンバーや保管場所等を含む資料情報を確定させた上での展示を行い、資料管理に弊害を起こさぬよう進行している。一方で、2017年のドローイング展による原広司資料の借用から、資料寄贈に至った事例もあり、収集対象建築家を

*元・国立近現代建築資料館 研究補佐員（令和2年12月～令和5年11月）、修士（工学）、現・Amanek.Inc. 代表

含んだ企画を先行して立案することで、将来の収蔵にもつながるケースも生まれている。将来へつながる展覧会運営が期待される。

10周年展準備では、企画検討の段階で過去10年の歩みを改めて把握すべきという考えのもと、過去の4回の企画展以外の16の展覧会の情報整理及びリスティングを行った。

3. 展覧会資料

展示計画や記録写真については、元々情報が比較的取り出しやすいように整理されていたが、会期後により必要とされるアイテム詳細情報については、展覧会ごとに、外部ワーキングと共同で企画されたり、館内でも担当者が複数存在するなど、その都度進行方法が異なることもあり、体系化されていないのが現実である。展覧会及び図録掲載された資料は、その後の閲覧や利用希望のレファレンスとなり、そこから資料公開が増える傾向がある。実際に展覧会後にNAMA外部での展示、掲載、借用等の事例が多く発生し、展覧会をきっかけに、資料が広く研究等で利用されていくことが期待される。今回の整理では、資料詳細が掲載されているデータを、展覧会アーカイブズフォルダに格納することで整理としたが、今後、統一フォーマットによる会期後のアイテムリストの整備が進めば、より生産的な資料として活用できると考える。

3.1. 展示作品

企画展を除いた過去16回の展覧会出品プロジェクトのリスティングは、重複して展示された作品情報や、記載方法についての差異など、さまざまな発見のある作業であった。

過去展覧会で、展示された作品は、重複を除いて288作品、展示点数（アイテム数）は2,557点であった。最多は5回出展している吉阪隆正の「ヴェネチアビエンナーレ 日本館」であった。次いで4回の坂倉準三「神奈川県立近代美術館」、吉阪隆正「自邸」があり、続いて3回出展9点、2回出展30点など、出展されてきたプロジェクト情報が整理された。展覧会及びプロジェクトリストは別紙1及び2（31頁～43頁）にまとめている。

3.2. 展示アイテム

NAMAでは、資料保護を第一に、展示室の照明は100lx.以下、原図や原本などは年間3ヶ月（90日）程度、着彩、青焼図面などは年間1ヶ月（30日）程度を上限とすることを設営基準としている。また極端に劣化や損傷が激しいものについては、平置きもしくは現物展示は不可としている。細かい図面で、しかも細い線の集合体ともいえる図面展示が主となり、館内アンケートでは照明については、見えにくいといったコメントをいただくこともしばしばあるが、対応が難しいのが現状である。

各アイテムは、フォンド（資料群）ごとに展示履歴をアイテムリストと呼ばれるシートへ記載することになっており、更新、記録し、貸出を含めての資料保護・管理を行っている。ただし、このアイテムリストを遡るだけでも膨大な量となり、担当者が原則3年任期で替わる現状で、その網羅は簡単なものではない。この状況もあり、今回レファレンス情報を網羅した出品リストを展覧会アーカイブズとして別置し、NAMAの基本情報を知る者であれば、辿り着きやすいかたちをつくった。これにより、過去の展示アイテム情報が集約され、増え続ける閲覧、借用対応がよりスムーズに進行可能となるはずである。

原資料の展示には、制限と条件が付随する。国宝級絵画などでは、5年間で3ヶ月等、より条件は厳しく設定されている。原資料だからこその魅力が展覧会の醍醐味ではあるが、丹下展での高解像度複製展示[1]においては、技術の向上、資料保護の観点、展覧会場をより自由に使用できるという点で、高解像度複製展示の有効性も確認された。

4. 表記

リスティングを進めるにあたり、プロジェクトタイトルや建築家名など、統一されていないものがあることが判明した。特に英表記で差異が見受けられ、NAMAが扱う時代の資料では、まだ英訳が十分ではなかった時代背景もあり、ないものについてはリサーチの上で決定してきた。基本的に作家自身の記載を第一とするが、ヘボン式と訓令式を含め、やはりずれが生じるケースもある。海外からのレファレンスも増えてきている昨今、できる限り正確な情報とするため、NAMAでは翻訳マニュアル作成[2]し、随時更新しながら、それぞれの翻訳者と共に各展覧会の翻訳業務を進めている。翻訳に判断が必要になった時の基本的な考え方は以下とした。

① 対象建築家自身が使用していた表記を遵守する。当該建築家の使用表記において異なりがある場合は、より新しい年の表記を採用する。[3] 訓令式を使っている場合はヘボン式にするが、建築家自身でこだ

わって使用していたレファレンスがある場合は、それを遵守する。

Ex.　MAYEKAWA Kunio
　　YOSIZAKA Takamasa

② 対象建築家自身の英表記が見つからない場合は、NAMA 以外での展覧会等での英表記を参照し、検討する。

③ ①及び②でも該当するものが見つからなかった場合は、NAMA 翻訳マニュアルに沿って英訳を作成し、主任及び翻訳者と相談のうえ、決定する。

10周年展出展作品のなかで異なりがあるものについてはリスティングし、上記方針に沿って検討のうえ、最終決定した。一方で、複数の建築家で同じプロジェクトでも英訳が異なるケースも判明したが、ローマ字表記を添えることで、海外のレファレンスにも対応できるようにとした。

Ex.　忠霊塔設計図案懸賞　応募案 /Competition of *Chureito* Memorials to War Dead

一方、大谷幸夫では、OTANI と OHTANI が混在するというケースもあった。これら経緯を踏まえ、NAMA マニュアルを更新しながら翻訳業務を進められれば、より正しい情報が提供されることであろう。建築資料並びにアーカイブズ業界の翻訳には、専門家と翻訳家の間でも相違があるケースもあり、今後英訳スタンダードの取組みが進むことを期待したい。

5. 映像資料

NAMA では、開館当初より「オーラルヒストリー」の制作及び展覧会での公開を積極的に進めてきた。オーラルヒストリーは、資料からは知り得ない当時の貴重な情報となり、資料調査の一助となっている。専門家向けの内容になりがちだが、これまで多くの方から再上映や公開の要望をいただいてきた。この10周年展を機に、過去のオーラルヒストリー、展覧会で使用した動画資料の整理も進めた。作業を進めながら、資料保管の前提で2箇所（もしくは媒体）以上でのデータ保管を旨としているものの、10年経過していないものでも、いずれかでは確認できるものの、既に館内で視聴ができない媒体が存在することがわかり、データ整備を急務とした。メディアは、wmv 形式、mp4形式、vob 形式、m2ts 形式、mov 形式とばらつきがあり、今後のデータ保管方針として、mp4形式と mov 形式へのデータ変換及び保管、今後制作するものについては2種類での提出とすることで館内調整を行なった。（別紙3参照）

文化庁公式 youtube チャンネル bunkachannel 内に、2021年より NAMA の再生リスト[4]が設けられた。コロナ禍によるアーカイブズ講習教材の公開が発端であるが、このページにこれまで制作したオーラルヒストリーを中心に、NAMA 制作の動画資料の順次公開を進めている。今後さらに NAMA の活動並びに研究成果を、より多くの方にご覧いただける環境となるであろう。

6. まとめ

NAMA の10周年展準備を進めることは、同時にこれまでの展覧会事業における活動や体制の変遷を辿ることとなった。展覧会の企画・遂行は、現在は企画部門が担当するが開館当初は企画部門という枠もなく、主任と補佐員が都度チームを組んで進行していた。2016年頃より3部門制になったものの、切り替わる担当者の考え方で資料等がつくられ、これまでそれらの整理はされていなかった。今回その作業を完了させ得たとは言えないが、今後の活動において押さえるべき点を整理・集約できたことは、将来において有益なものであってほしいと願っている。

10周年展では、本作業で知り得た知見から展示作品やアイテムの選出、1部「覚醒と出発」、2部「飛躍と挑戦」というテーマの設定、過去のオーラルヒストリー動画からの再上映などを行った。10年間にわたる活動の一部ではあるが、包括的に NAMA の活動を振り返ることができたかと思える。10周年展で放映できなかったものも順次 bunkachannel での公開が進められるはずである。

筆者は研究補佐員期間の満期を迎え、本稿をもって携わった3年間で知り得た経緯や展覧会事業についてのまとめとし、今後の展覧会運営での参照情報として利用いただければ幸いである。

注

1　令和3年度「丹下健三 1938–1970　戦前からオリンピック・万博まで」展において、ハーバード大学より広島平和記念資料館他の原図を借用予定であったが、コロナ禍で輸送手配が難しくなり、高解像度データの複製原寸展示となった。精度の高さに複製と気づかない来訪者も多かった。

2　NAMA翻訳マニュアルは、『知識のうらづけ／情報のみなもと―出典表記と文献記載―』東京大学教養学部英語部会/教養教育開発機構参照のもと、出典の記載方法、記号の種別等を取りまとめ、都度更新しながら改良を重ねている。

3　たとえば、同じ建築家の1970年と1990年出版の本で、表記が異なる場合は、1990年の表記を採用する。
4　文化庁公式youtubeチャンネルbunkachannel内、国立近現代建築資料館

youtube：https://x.gd/Rbf5D

（2024年9月15日原稿受理）

別紙 1

開催年		展覧会名	開催日	開催日数	展示プロジェクト数	展示アイテム数	1日平均来場者数	来場者数
2013（平成25年度）	1	建築資料にみる東京オリンピック【企画展】	5月8日（水）～6月14日（金）	38	-	-	180	6643
	2	人間のための建築　建築資料にみる坂倉準三	11月27日（水）～2014年2月23日（日）	89	24	114	107.4	9172
2014（平成26年度）	1	建築アーカイブズをめざして	5月8日（木）～8月24日（日）	109	22	58	79.1	8504
	2	建築のこころ　アーカイブにみる菊竹清訓展	10月29日（水）～2015年2月1日（日）	89	38	181	139.6	11930
2015（平成27年度）	1	ル・コルビュジエ×日本 国立西洋美術館を建てた3人の弟子を中心に	7月21日（火）～11月8日（日）	111	17	105	159.4	17013
	2	みなでつくる方法　吉阪隆正＋U研究室の建築	12月3日（木）～2016年3月13日（日）	95	19	164	130.9	11755
2016（平成28年度）	1	資料にみる近代建築の歩み【企画展】	5月14日（土）～7月31日（日）	79	-	-	157.9	11930
	2	建築と社会を結ぶ――大髙正人の方法	10月26日（水）～2017年2月5日（日）	96	36	374	125.6	11452
2017（平成29年度）	1	平成29年度　収蔵品展	6月10日（土）～9月10日（日）	93	17	190	91.2	8167
	2	紙の上の建築　日本の建築ドローイング1970s-1990s【企画展】	10月31日（火）～2018年2月4日（日）	90	-	-	125.9	10463
2018（平成30年度）	1	平成30年度収蔵品展「建築からまちへ1945-1970」	6月9日（土）～9月9日（日）	93	18	165	84.2	7195
	2	明治期における官立高等教育施設の群像【企画展】	10月23日（火）～2019年2月11日（月）	106	-	-	89.2	8815
2019（令和1年度）	1	安藤忠雄　初期建築原図――個の自立と対話	6月8日～9月23日	107	26	185	118.3	19551
	2	吉田鉄郎の近代　モダニズムと伝統の架け橋	11月1日～2020年2月11日	97	32	210	77.5	6882
2020（令和2年度）	1	ミュージアム1940年代－1980年代：始原からの軌跡	10月1日～11月15日	46	16	87	87.2	3769
	2	日本のたてもの展――工匠と近代化　大工技術の継承と展開　【企画展】	12月10日～2021年2月19日	50	-	-	107.8	3348
2021（令和3年度）	1	丹下健三1938-1970　戦前からオリンピック・万博まで	7月21日～10月10日	82	18	171	242.7	14179
	2	「住まい」の構想　収蔵資料が物語る名作住宅1940-75	12月14日～2022年3月13日	71	15	145	110.4	3700
2022（令和4年度）	1	「こどもの国」のデザイン――自然・未来・メタボリズム建築　［併設］新規収蔵資料紹介	2022年6月21日～8月28日	60	20	120	67.2	3563
	2	原広司　建築に何が可能か―有孔体と浮遊の思想の55年―	2022年12月13日～2023年3月5日	64	17	176	196.7	11201
2023（令和5年度）	1	日本の近現代建築家たち　第1部　覚醒と出発	2023年7月25日～10月15日	72	13	167	124.1	7698
	2	日本の近現代建築家たち　第2部　飛躍と挑戦	2023年11月1日～2024年2月4日	76	18	188	130.9	8471
			総計	1813			**124.4**	**205401**
				日			人	人

別紙 2　過去の館内展覧会で出展された収蔵資料及び展覧会　＊別紙 1 の展覧会番号にて記載

フォンド番号　資料名 / 作品		作成/竣工年	出展①	出展②	出展③	出展④	出展⑤
01	坂倉準三建築設計資料						
	パリ万博日本館	1937	2013-2	2015-1			
	新京南湖ボートハウス	1940	2013-2				
	新京南湖住宅地計画	1940	2015-1				
	飯箸邸	1941	2013-2				
	戦争組立建築	1941-1945	2013-2	2015-1	2021-2		
	ダビンチ展	1942	2013-2	2015-1	2020-1		
	龍村邸	1942	2021-2				
	東京市忠霊塔第二案	1943	2015-1	2023-2			
	高島屋和歌山支店	1948	2013-2	2015-1			
	加納邸	1950	2013-2				
	大阪スタジアム	1950	2013-2				
	高島屋大阪難波新館改増築	1950	2013-2	2018-1			
	東京日仏学院	1951	2013-2	2014-1			
	神奈川県立近代美術館	1951	2013-2	2014-1	2015-1	2020-1	2023-1
	渋谷計画東急会館	1954	2013-2	2014-1	2018-1		
	岡本邸	1954	2013-2				
	コルビュジェ、レジェ、ペリアン展	1955	2013-2				
	出光興産給油所関連施設	1955-1962	2017-1				
	東急文化会館	1956	2013-2				
	ミラノトリエンナーレ	1957	2013-2				
	南海会館	1957	2013-2	2018-1			
	羽島市庁舎	1959	2013-2	2018-1			
	国立西洋美術館（前川、坂倉、吉阪）	1959	2015-1	2020-1	2023-1		
	仁木邸	1960	2021-2				

フォンド番号　資料名		作成/竣工年	出展①	出展②	出展③	出展④	出展⑤
	作品						
	塩野義製薬研究所	1961	2013-2				
	呉市市庁舎	1962	2013-2				
	平野邸	1962	2021-2				
	牧岡市庁舎	1964	2013-2	2014-1			
	上野市庁舎、上野市全体計画	1964	2013-2	2018-1			
	トールゲート	1964	2013-2				
	神奈川県庁舎	1966	2013-2	2023-2			
	新宿計画	1967	2013-2	2014-1	2018-1	2023-2	
	日本万国博覧会電力館	1970	2020-1				
	箱根国際観光センター競技設計	1970	2023-2				
02	丹下都市建築設計所蔵マイクロフィルム　*展覧会でマイクロフィルムを使用していないが、展示された作品を含む						
	広島平和記念資料館	1949	2021-1	2023-1			
	墨会館	1957	2021-1				
	今治市庁舎	1958	2021-1				
	東京カテドラル聖マリア大聖堂	1964	2021-1				
	戦没学徒記念館	1966	2021-1				
	山梨文化会館	1966	2021-1				
	クウェートスポーツセンター	1970	2021-1				
	シンガポール・スポーツ・コンプレックス	1972-73	2023-2				
	旧草月会館	1977	2021-1				
04	駒田知彦資料						
	鎌倉近代美術館構造図	1951	2022-1				
	鎌倉近代美術館レポート	1966	2022-1				
06	池辺陽 渋谷区復興計画案資料						
	渋谷区復興計画案	1946-1949	2015-1	2018-1			
07	村田豊建築設計資料						
	EXPO'70 富士パビリオン	1970	2020-1	2022-1			
	蘭・第12回世界会議パビリオン	1986	2022-1				
08	吉阪隆正+U研究室建築設計資料						
	東京国際ホテル計画案	1953	2015-1				
	吉阪自邸	1955	2014-1	2015-1	2015-2	2021-2	
	浦邸	1955	2014-1	2015-2			
	ヴェネチア・ビエンナーレ日本館	1956	2014-1	2015-1	2015-2	2017-1	2020-1
	ヴィラ・クゥクゥ	1956	2015-2	2023-1			
	海星学園	1957	2015-2				
	日仏会館	1958	2014-1	2015-2			
	呉羽中学校	1958	2015-2				
	江津市庁舎	1959	2015-2				
	コンゴ・レオポルドビル文化センター計画国際設計競技	1959	2015-2				
	アテネ・フランセ	1960	2014-1	2015-2			
	大島町元町復興計画	1965-1967	2014-1	2015-2	2018-1		
	水鳥山計画	1965頃	Jan-18				
	港から神社への参道と中道り商店街	1965頃	Jan-18				
	野沢温泉ロッジ	1968	2015-2				
	生駒山宇宙科学館	1968	2015-2				
	箱根国際観光センター競技設計	1970	2015-2	2023-2			
	朋文堂山田牧場ヒュッテ	1971	2015-2				
	U研究室アトリエ	1973	2015-2				
	三沢邸	1974	2015-2				
	大学セミナーハウス	1963-	2014-1	2015-2	2023-2		
09	ル・コルビュジエ作　緞帳『闘牛14号』						
	緞帳『闘牛14号』	1956	2014-1				
10	大髙正人建築設計資料						
	前川事務所時代（前川自邸）	1945	2016-2	2021-2			
	宇部レクリエーションセンター	1947	2016-2	2018-1			
	世界平和記念聖堂コンペ案	1948	2016-2				
	佐藤邸	1948	2016-2				
	木造組立住宅プレモス*前川事務所時代	1949	2016-2				
	大髙邸	1951	2016-2				
	神奈川県立図書館・音楽堂*前川事務所時代	1954	2016-2				
	福島県教育会館*前川事務所時代	1956	2016-2				
	ケーススタディハウス	1957	2016-2				
	上野計画	1959	2016-2	2018-1			
	東京湾上の都市の提案	1959	2014-1	2016-2			
	新宿副都心計画	1960	2016-2				
	東京文化会館*前川事務所時代	1961	2016-2				
	宇部市常盤公園	1961	2018-1				
	向井邸	1962	2014-1	2016-2			
	片岡農協協同組合	1962	2014-1	2016-2	2017-1		
	蓼科別送（プレファブ）	1962	2016-2				
	京都国際会議場コンペ案	1963	2014-1	2016-2	2023-2		
	村井学園	1963	2016-2				
	日本自動車　高浜事務所	1963	2016-2				
	全日本海員組合本部会館	1964	2016-2				
	御初見農業共協同組合	1964	2017-1				
	こどもの国修学旅行会館	1964	2022-1				
	花泉農協協同組合	1965	2014-1	2016-2	2017-1		
	立川幼稚園	1966	2016-2				
	山内農業協同組合会館	1966	2017-1				
	奥多摩ニュータウン自然地形案	1966-1969	2016-2				
	多摩センター駅前広場・ペデストリアンデッキ	1966,1977-2000	2016-2				
	千葉県文化会館	1967	2016-2	2018-1	2023-1		
	新居浜市農業協同組合	1967	2017-1				
	千葉県立中央図書館	1968	2016-2	2023-1			
	南郷農業協同組合会館	1968	2017-1				
	最高裁判所庁舎設計競技	1968	2023-2				
	坂出人工土地	1968-86	2014-1	2016-2	2021-2		
	栃木県庁舎議会棟	1969	2016-2				
	広島基町団地・長寿園団地	1969-78	2014-1	2016-2	2023-2		
	静岡市農業共同組合センター	1970	2017-1				
	緑農住区開発計画	1970-1972	2016-2				
	海浜ニュータウン検見川地区センター計画	1971-1977	2016-2				
	神戸青木深紅地区再開発計画	1972	2016-2				
	島根県川本町元・本町地区再開発計画	1972-1974	2016-2				

フォンド番号　資料名		作成/竣工年	出展①	出展②	出展③	出展④	出展⑤
	作品						
	千葉県立美術館	1972-1980	2016-2	2020-1			
	岡谷市立湊小学校	1973	2016-2				
	旭川市彫刻公園基本設計	1973	2018-1				
	千葉港中央区臨海公園計画	1973-1974	2016-2				
	神戸須磨離宮公園現代彫刻展	1974	2018-1				
	みなとみらい21	1975-2002	2016-2				
	横浜市都心臨海部公園計画	1976	2016-2				
	群馬県立歴史博物館	1979	2020-1				
	三春のまちづくり	1980-2003					
	青葉彫刻の森	1989	2018-1				
	横浜博覧会基本構想	-	2016-2				
13	渡辺仁資料						
	学生時代資料	1904-1912	2017-1				
	鈴木邸	1941	2017-1				
	渡辺仁自邸	1943	2017-1				
	程ヶ谷カントリークラブ	1952	2017-1				
	小林雅一邸	1958	2017-1				
	某邸	-	2017-1				
	安田火災ビル	-	2017-1				
	東京生命仙台支店	-	2017-1				
14	木村俊彦構造設計資料群						
	Expo' 70　住友童話館	1970	2022-1				
15	菊竹清訓建築設計資料						
	広島平和記念カソリック聖堂設計競技	1948	2014-2				
	井上邸	1955	2021-2				
	ブリジストンタイヤ殿ヶ谷第一アパート	1956	2014-2				
	石橋文化会館（現・久留米美術館）	1956	2014-2	2020-1			
	永福寺幼稚園	1956	2014-2				
	久留米医大看護婦宿舎	1956	2014-2				
	ブリジストンタイヤ母子寮	1957	2014-2				
	スカイハウス	1958	2014-2	2021-2			
	塔状都市1958	1958	2014-2				
	海上都市1958	1958	2014-2				
	海洋都市うなばら	1960	2014-2				
	METABOLISM/1960都市への提案	1960	2014-2				
	東京湾計画1961	1961	2014-2				
	畠山美術館案	1961-1963	2020-1				
	国立京都国際会議場設計競技	1963	2014-2	2023-2			
	海上都市1963	1963	2014-2				
	出雲大社庁の舎	1963	2014-2	2023-1			
	オリンピック選手村食堂	1964	2014-2				
	ホテル東光園	1964	2014-2				
	浅川テラスハウス	1964	2014-2				
	徳雲寺納骨堂	1965	2014-2				
	都城市民会館	1966	2014-2				
	こどもの国林間学校	1966	2014-2	2022-1			
	立花町体育館	1967	2014-2				
	ハワイ海上都市	1971	2014-2				
	京都信用金庫	1971	2014-2				
	アクアポリス	1975	2014-2				
	萩市民館	1975	2014-2				
	黒石ほるぷ子ども館	1975	2014-2				
	層構造モジュール	1977-	2014-2				
	江戸東京博物館	1992	2014-2				
	軸力ドーム	1995-	2014-2				
	島根県立博物館	1999	2020-1				
	アリゾナサーチパーク	2002	2014-2				
	九州国立博物館	2004	2014-2				
	モスクワスカイガーデン	2006	2014-2				
17	こどもの国建築関連資料						
	自然プール：浅田	1964	2022-1				
	フラワーシェルター：黒川	1964	2022-1				
	交通訓練センター：鈴木	1964	2022-1				
	セントラルロッジ：黒川	1965	2022-1				
	アンデルセンの家：黒川	1965	2022-1				
	児童遊園・児童館：大谷・イサム	1966	2022-1				
	皇太子記念館：浅田	1972	2022-1				
18	吉田鉄郎建築設計資料						
	藤井能三台座・古市公威像台座案	1922-1936	2019-2				
	山田郵便局電話事務室	1923	2019-2				
	京都中央電話局上分局	1924	2019-2				
	東京大震火災記念建造物設計図案	1925	2019-2				
	京都中央電話局	1926	2019-2				
	検見川無線送信所・官舎	1926	2019-2				
	福野郵便局および五島氏離れ	1926	2019-2				
	朽木義男邸	1926	2019-2				
	城端郵便局	1927	2022-1				
	別府市公会堂	1928	2019-2	2023-1			
	馬場氏牛込邸	1928	2019-2				
	馬場氏那須山荘	1928	2019-2				
	朽木氏銷夏荘	1928	2019-2				
	山田邸洋館増築	1929	2019-2				
	逓信省電気試験所永田町分室	1930	2019-2				
	日本生命館建築図案懸賞案	1930	2019-2				
	大阪東郵便局	1931	2019-2				
	東京中央郵便局	1931	2019-2	2023-2			
	大阪中央郵便局梅田分室	1935	2019-2				
	富山県立福野農学校農業博物館	1935	2019-2				
	大阪中央郵便局	1935	2019-2				
	馬場清彦邸	1937	2019-2				
	馬場氏烏山別邸	1937	2019-2				
	忠霊塔設計図案	1939	2019-2	2023-2			
	馬場氏熱海別荘	1940	2019-2				
	灯台寮	1943	2019-2				

フォンド番号　資料名		作成/竣工年	出展①	出展②	出展③	出展④	出展⑤
	作品						
	北陸銀行新潟支店	1951	2019-2				
	外務省庁舎計画案	1952	2019-2				
	東京都庁舎計画案	1952	2019-2				
	日向氏熱海別邸・タウト関連資料	-	2019-2				
19	平田重雄建築設計資料						
	コーネル大学時資料	-	2017-1				
	石橋徳次郎邸	1931	2017-1				
	日本医師共済生命保険会社	1933	2017-1				
	箱根仙石原平田別荘	1934	2017-1				
	平田重雄自邸	1967	2017-1				
	日本銀行本店分館	1973	2017-1				
20	岸田日出刀建築資料						
	ベルリンオリンピック視察写真	1920-1960	2023-1				
	ゴルフコースと倶楽部ハウス	1955-1962	2023-2				
	衆議院議長公邸	1961	2021-2				
	本願寺津村別院	1960頃	2022-1				
21	角田栄資料						
	海外視察日記、手帳	1960-1961	2022-1				
23	高橋靚一・第一工房資料						
	高垣邸	1962	2021-2				
	佐賀県立図書館	1962	2023-1				
	国立京都国際会館設計競技	1963	2023-2				
	浪速芸術大学学園総合計画設計競技	1964	2023-2				
	佐賀県立博物館	1970	2020-1				
	群馬県立館林美術館	2001	2023-2				
24	前川國男建築設計資料						
	プレモス	1848	2021-2				
	上海華興商業銀行社宅	1941	2015-1	2021-2			
	NHK富士見ヶ丘クラブハウス	1954	2021-2				
	晴海高層アパート	1958	2015-1	2023-1			
	東京文化会館	1961	2015-1				
	最高裁判所庁舎設計競技	1968	2023-2				
	ポンピドゥ・センター国際建築設計競技	1971	2023-2				
	東京都美術館	1975	2015-1				
	ニューヨーク世界博覧会日本館	1962-1964	2015-1				
25	原広司＋アトリエ・ファイ建築研究所資料						
	浪速芸術大学学園総合計画設計競技	1964	2023-2				
	伊藤邸	1967	2022-2				
	慶松幼稚園	1967	2022-2				
	粟津邸	1972	2023-1				
	原邸	1974	2017-2	2021-2	2022-2		
	工藤山荘	1976	2022-2				
	ニラム邸	1978	2022-2				
	伊豆の吊り小屋	1979	2017-2				
	一滴庵	1979	2017-2				
	湯布院別荘	1979	2017-2				
	末田美術館	1981	2020-1				
	田崎美術館	1986	2020-1	2022-2			
	ヤマトインターナショナル	1986	2022-2				
	那覇市城西小学校	1987	2022-2				
	飯田市美術博物館	1988	2020-1	2022-2			
	ケルン・メディアパーク都市計画構造国際提案競技	1988	2023-2				
	内子町立大瀬中学校	1992	2017-2	2022-2			
	新梅田シティ・スカイビル	1993	2017-2	2022-2			
	500×500×500	1993	2022-2				
	JR京都駅ビル	1997	2022-2				
	宮城県立図書館	1998	2022-2				
	ピエモンテ州新庁舎	2000	2022-2				
	札幌ドーム	2001	2022-2				
	実験住宅モンテビデオ	2003	2022-2				
	影のロボット	1984-1986	2023-2				
27	ヴァスムート（Wasmuth）社旧蔵吉田鉄郎著作資料						
	『日本の住宅』制作資料	1954頃	2022-1				
28	安藤忠雄初期建築資料						
	冨島邸	1973	2019-1				
	山口邸	1975	2019-1				
	住吉の長屋	1976	2019-1	2023-1			
	松本邸	1977	2019-1				
	真鍋邸	1977	2019-1				
	石原邸	1978	2019-1				
	上田邸	1979	2019-1				
	松谷邸	1979	2019-1				
	小篠邸	1981	2019-1				
	大淀のアトリエⅠ	1981	2019-1				
	双生観の茶室	1982	2019-1				
	井筒邸	1982	2019-1				
	大淀のアトリエⅡ	1982	2019-1				
	六甲の集合住宅Ⅰ	1983	2019-1				
	茂木邸	1983	2019-1				
	金子邸	1983	2019-1				
	TIME'S	1984	2019-1				
	大淀の茶室	1985	2019-1				
	中山邸	1985	2019-1				
	六甲の教会	1986	2017-2	2019-1			
	水の劇場	1986	2017-2				
	城戸崎邸	1986	2019-1				
	水の教会	1988	2017-2	2019-1	2023-2		
	小倉邸	1988	2019-1				
	光の教会	1989	2017-2	2019-1			
32	大谷幸夫建築資料						
	国立京都国際会館	1966	2023-1	2023-2			
	児童遊園・児童館	1966	2022-1				
	最高裁判所庁舎設計競技	1968	2023-2				
	ポンピドゥ・センター国際建築設計競技	1971	2023-2				

別紙 3

展覧会（別紙1参照）	資料名　＊公開動画はリンク付き	所蔵	制作年	分	字幕
2013-1	代々木競技場の関するオーラルヒストリー/岡村幸一郎、荘司考衛	NAMA	2013	77	無
2013-1	代々木屋内競技場の基本設計が始まるまでの経緯/神谷宏治、室橋正太朗	NAMA	2013	9	無
2013-1	代々木の大屋根の造形が決まるプロセス/川口衛	NAMA	2013	6	無
2013-1	代々木競技場の関するオーラルヒストリー/尾島俊雄、佐藤光男	NAMA	2013	4	無
2013-2	人間の為の建築　北村脩一〜旧加納邸、日仏学院、トールゲート、鎌倉近美、	NAMA	2013	13	無
2013-2	人間の為の建築　阪田誠造〜東急会館、小田急百貨店、新宿西口広場、羽島市庁舎	NAMA	2013	14	無
2013-2	人間の為の建築　辰野清隆〜昭和25年頃の事務所の様子、鎌倉近美、加納邸、他	NAMA	2013	16	無
2014-1	前年度活動報告、資料所在調査（学会へ委託業務）報告	NAMA	-	-	-
2014-2	菊竹は怒っている/穂積信夫オーラルヒストリー	NAMA	2014	15	有
2014-2	国立京都国際会議場設計競技について/遠藤勝勧、小川惇、長谷川逸子オーラルヒストリー	NAMA	2014	17	有
2014-2	菊竹清訓インタビュー	菊竹清訓氏を偲ぶ会	2012	13	無
2014-2	早稲田建築アーカイブス　No.11「菊竹清訓」	編集：早稲田古谷研	2014	8	無
2015-1	国立西洋美術館に関するオーラルヒストリー１ /藤木忠善	NAMA	2014	33	無
2015-1	国立西洋美術館に関するオーラルヒストリー２ /戸沼幸市ｘ鈴木恂〜吉阪事務所ver.	NAMA	2015	16	無
2015-1	「国立西洋美術館本館創建時イメージ映像」	国立西洋美術館	-	-	-
2015-1	ル・コルビュジェの姿が記録された映像（坂倉事務所で保管されていた8㎜フィルムより）	不明	不明	8	無
2015-2	吉阪隆正＋U研究室に関するオーラルヒストリー［1]「家族の思い出 自自邸とU研究室」（吉阪正邦、吉阪昭治）	NAMA	2014-2015	9	有
2015-2	吉阪隆正＋U研究室に関するオーラルヒストリー［2]「 フランス留留学前後の時代」（近藤正一）	NAMA	2014-2015	7	有
2015-2	吉阪隆正＋U研究室に関するオーラルヒストリー[3]「吉阪隆正の建築の方方法」（戸沼幸市、矢内秀幸）	NAMA	2014-2015	7	有
2015-2	吉阪隆正＋U研究室に関するオーラルヒストリー［4]「吉阪隆正の思想とことば」（鈴木恂、植田実）	NAMA	2014-2015	22	有
2015-2	吉阪隆正＋U研究室に関するオーラルヒストリー［5]「教育者としての吉阪隆正」（中川武、後藤春彦）	NAMA	2014-2015	14	有
2015-2	吉阪隆正＋U研究室に関するオーラルヒストリー[7]「U研究室の集団設計」（樋口裕康、富田玲子）	NAMA	2014-2015	21	有
2015-2	吉阪隆正ファウンドフッテージ [1]「新入入生生へのメッセージ」（出所：『吉阪隆正』吉阪隆正集刊行を祝う会）1978年年［2]「ヴェネチア・ビエンナーレ日本館での映像」（出所：同上）1956年［3]「放送大学実験番組「住居論論」第10回『形のもつ法則』」1972年年（映像協力：放送大学園）［4］映画「赤道直下一万粁 アフリカ横断」1958年年（映像協力：東宝ステラ 日映アーカイブ、日本映"	早稲田大学佐藤洋一研	-	11	-
2016-1	明治建築をつくった人々ーコンドル先生と4人の弟子-	大成建設	1999	55	無
2016-1	東京カテドラル建設記録	大成建設	1965	24	無
2016-1	万国お祭り広場建設記録	大林組	1970	35	無
2016-2	オーラルヒストリー 大高正人を語る：大高正人との出会い/藤本昌也 増山敏夫	NAMA	2015	13	有
2016-2	オーラルヒストリー 大高正人を語る：大高正人の建築思想/藤本昌也 増山敏夫	NAMA	2015	15	有
2016-2	オーラルヒストリー 大高正人を語る:大高正人との出会い〜新宿副都心計画/槇文彦	NAMA	2015	20	有
2016-2	オーラルヒストリー 大高正人を語る：大高正人のデザイン/藤本昌也 増山敏夫	NAMA	2016	26	有
2016-2	オーラルヒストリー 大高正人を語る：三春での最初の講演会/伊藤寛 内藤忠 鈴木義孝　佐藤哲郎	NAMA	2016	16	有
2016-2	オーラルヒストリー 大高正人を語る：南多摩ニュータウン自然地形案/藤本昌也 中島直人	NAMA	2016	12	有
2016-2	オーラルヒストリー 大高正人を語る：PAUとは何か/養原敬 中島直人	NAMA	2016	12	有
2016-2	オーラルヒストリー 大高正人を語る：みなとみらい21と大高正人/中尾明 中島直人	NAMA	2016	11	有
2016-2	オーラルヒストリー 大高正人を語る：大高正人との協働/青木繁 山辺豊彦 藤本昌也	NAMA	2016	13	有
2016-2	1960年代の大高正人	不明	2015	11	無
2016-2	人工土地 第一号	坂出市	2015	13	無
2016-2	大高正人の三春の仕事	NAMA	2016	9	無
2017-2	高松伸オーラルヒストリー／朽木順綱、戸田穣	NAMA	2017	19	有
2017-2	原広司オーラルヒストリー／戸田穣、元岡展久	NAMA	2017	18	有
2017-2	藤井博巳オーラルヒストリー／日埜直彦、戸田穣	NAMA	2017	16	有
2017-2	磯崎新オーラルヒストリー／日埜直彦、戸田穣	NAMA	2017	16	有
2019-2	オーラルヒストリー　馬場是久　祖母　馬場はる	NAMA	2019	10	有
2019-2	オーラルヒストリー　内田祥哉　個人と組織	NAMA	2019	25	有
2019-2	オーラルヒストリー　隈研吾　保存と改修　東京中央郵便局・京都中央電話局	NAMA	2019	19	有
2020-1	オーラルヒストリー　青木淳 京都市京セラ美術館	NAMA	2020	21	有
2020-1	オーラルヒストリー　原広司 末田・田崎・飯田	NAMA	2020	18	有
2020-2	日本の大具技術紹介動画	文化庁	-	-	-
2021-1	慰霊祭（1955年８月６日）に集う人々　撮影：丹下健三（スライドショー）	個人蔵	1955	5	無
2021-1	倉吉市庁舎建設記録映像	生田昭夫（堂計画室）蔵	1955頃	12	無
2021-1	オーラルヒストリー　岡村幸一郎、荘司孝衛　*2013年オリンピック展動画を再編	NAMA	2013	17	有
2021-1	特設サイト動画あり（文化channel放映中）	NAMA	2021	-	無
2021-1	オンラインシンポ動画あり（文化channel放映中）	NAMA	2021	56	無
2021-1	オンラインギャラリートーク	NAMA	2021	34	無
2021-2	現存する建築物のスライドショー（前川自邸、坂出、原邸動画）	NAMA	2021	7	無
2021-2	写真資料スライドショー	NAMA	2021	14	無
2021-2	坂倉月：北村氏オーラル部分放映	NAMA	2021	16	有
2021-2	前川月：上海銀行社宅アルバムスライドショー	NAMA	2021	7	無
2021-2	菊竹月：菊竹清訓インタビュー　*2014年菊竹展での動画再上映	菊竹清訓氏を偲ぶ会	2021	13	無
2022-1	こどもの国の歴史（抜粋）＋「こどもの国」の建築家・デザイナー（スライドショー）	社会福祉法人こどもの国協会/NAMA	2022	10	無
2022-1	こどもの国のデザイン　スライドショー	NAMA	2022	9	無
2022-2	原広司オーラルヒストリー　有孔体と浮遊の思想	NAMA	2022	10	有
2022-2	原広司オーラルヒストリー　生い立ちそして建築理念	NAMA	2022	17	有
2022-2	有孔体と浮遊の思想2022 M0を巡って　原広司、宇野求、竹山聖、小林克弘	NAMA	2023	21	有
2023年（令和４年度）日本の建築家たち」展では、上記オーラルヒストリーからセレクションして放映					